



KIRIN

よろこびがつなぐ世界へ
Joy brings us together

キリングroup° 2026年12月期 第2四半期決算

2026年8月7日

これまで実施してきた様々な改革に強い手応え

中長期的に外部環境の激しい変化が見込まれる中
**キリングroupの事業ポートフォリオに対する
資本市場からの理解/賛同が得られはじめ、時価総額は上昇基調に**

時価総額の推移（2025年初来）



上半期の投資家の皆様との対話を経て

資本市場の関心が
特に高かった事項



業績

今期の業績予想は変えないのか？



BS
マネジメント

構造改革などBS最適化の進捗は？



ヘルス
サイエンス

ヘルスサイエンス事業の具体的な成長戦略は？



国内酒類

国内酒類の酒税一本化に向けた手応えは？



医薬事業

医薬事業の保有の考え方に変化は？



業績

今期の業績予想は変えないのか？

- 事業利益と親会社所有者利益を**上方修正**する

事業利益：2,350億円 ➡ **2,530億円**、親会社所有者利益：1,560億円 ➡ **1,600億円**

- EPSについては193円から**200円**へ**上方修正**し、ROICは年初目標達成を目指す

*詳細はp.13参照



BS
マネジメント

構造改革などBS最適化の進捗は？

- Four Rosesの売却については4月1日にクロー징
- 協和ファーマケミカルの売却、LionのJames Boag工場の閉鎖などを進行

ヘルスサイエンス事業の成長戦略

よるこびがつなく世界へ



ヘルスサイエンス事業の具体的な成長戦略は？

成長ドライバー

1



アジア・オセアニアでのシナジー創出

2



既存事業の持続的な成長

3



高付加価値素材による収益性向上

4



M&Aによる新たな
RTM*・ブランド等のアセット獲得

* Route to Market

2030年にオーガニック成長で
事業利益**300億円～330億円**を、
2035年はインオーガニック成長を含め
売上収益**5,000億円**
事業利益**750億円**（事業利益率15%）
を達成する



国内酒類

国内酒類の酒税一本化に向けた手応えは？

- 強化する狭義ビールで、**一番搾り**に加えて、**晴れ風とグッドエール**が育っている
- **4つのカテゴリー***とRTDで強いブランドを持つことが**強み**であり、今後も競争優位に
- 今後も変わらず、単価向上によるトップラインの維持とコスト最適化により収益性の向上を図る

* プレミアム、スタンダード、エコノミー、機能系の4つのカテゴリー



医薬事業

医薬事業の保有の考え方に変化は？

- **R&Dの基礎研究での協働**などヘルスサイエンス事業の成長・競争力強化にとって重要
- 現在の持分比率で**協働したいことはできている**

➡ 保有意義と持分比率いずれも**従来の考えから変更なし**

将来の不確実性や地政学リスク、人口動態などを見据えた

レジリエンスの高い事業ポートフォリオ経営を行う

力強いEPS成長

各事業における
実行力の強化



PER向上

中長期的には3事業で強靱・
バランスの取れた利益構造に



BSマネジメント など



ROIC改善

ヘルスサイエンス
& 飲料事業

酒類事業

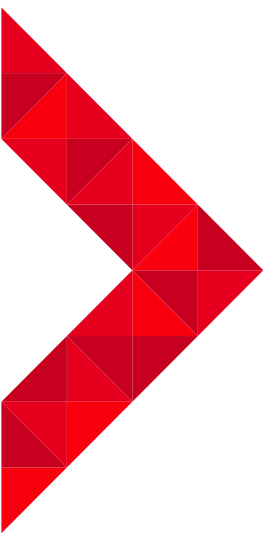
医薬事業

キリングroupは、生活者のこころと体の
健康の未来を創造するgroupを目指す

人と技術の力で
イノベーションを起こし続けるCSV先進企業として
世界をもっと元気に

よろこびがつなぐ世界へ
 **KIRIN**





2026年 第2四半期決算概要

Joy brings us together



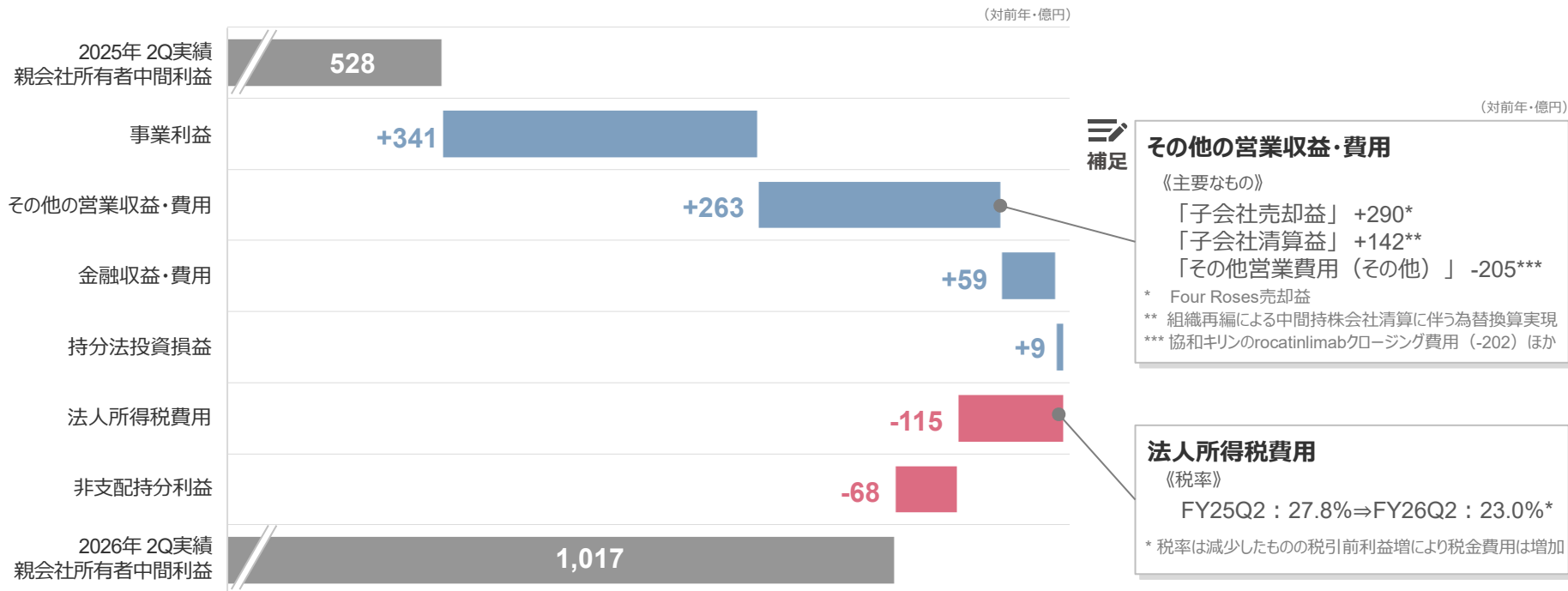
2026年度 2Q実績

(億円)	25年2Q 実績	26年2Q 実績	増減	%
売上収益	11,363	12,179	816	7.2%
事業利益 *	942	1,283	341	36.1%
税引前中間利益	838	1,509	671	80.1%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	528	1,017	489	92.5%
期中平均株式数 (百万株)	810	805	-5	-0.6%
EPS (円)	65	126	61	93.8%

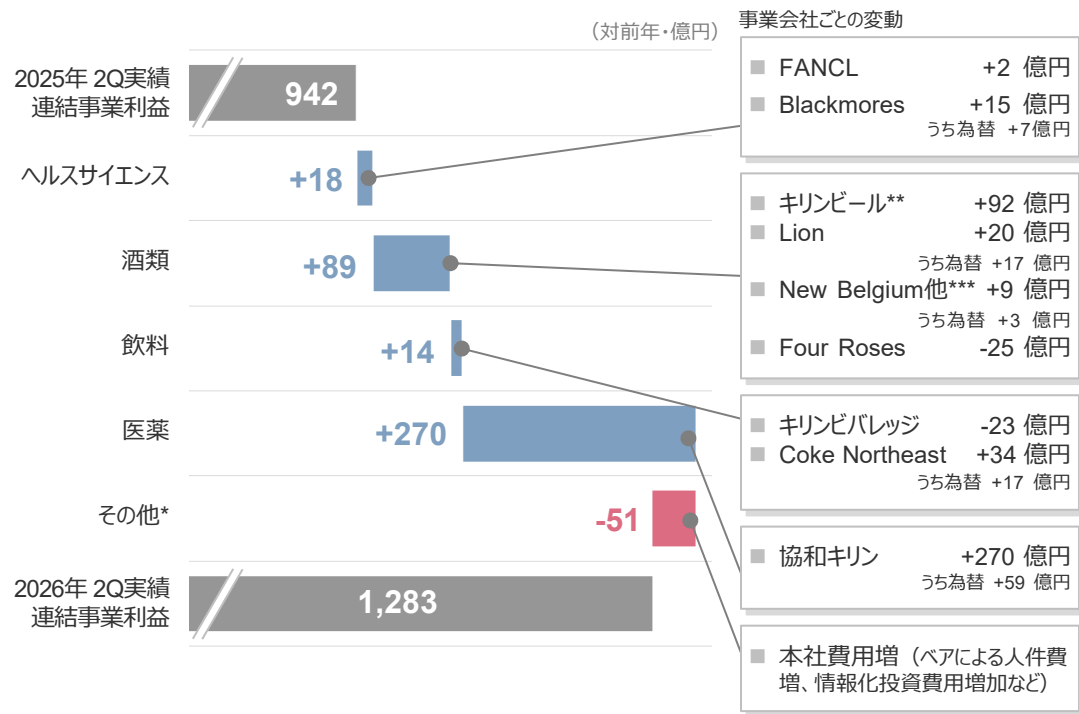
- 親会社所有者利益は、事業利益の増加やFour Rosesの売却益の計上などにより、大幅に増益
- EPSは、親会社所有者利益の増加に伴って向上しており、計画に対しても順調に進捗
- 事業利益は、Four Roses売却に伴う利益剥落の影響があったものの、引き続き、各事業が順調に進捗していることにより増加

* 事業の経常的な業績を測る利益指標として、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して算出

2026年度 2Q実績：親会社の所有者に帰属する中間利益増減



2026年度 2Q実績：セグメント別 連結事業利益増減



* 「その他」は、「その他」と「全社費用/セグメント間取引消去」との合算値

** 麒麟ビール単体の他、台湾麒麟等の連結構成会社を含む

*** U.S.ワインを含む

トピックス

全般

- 引き続き、各事業が順調に進捗していることに加え、為替の後押しもあり、大幅に増益
- 中東情勢に伴う影響を受けている事業があるものの、コスト削減やコストコントロール等を行い、影響の最小化に努めている

ヘルスサイエンス事業

- 各事業が堅調に推移しており、計画に対しても概ねインラインで進捗している

酒類事業

- 国内外ともに、引き続き、競合によるマーケティング投資強化の攻勢を受けながらも販売は順調に進捗

医薬事業

- 技術収入や北米におけるCrysvitaの需要増、為替の影響に伴う売上総利益の増加に加えて、研究開発費の減少等が大幅増益に寄与

2026年度 業績予想修正

- 事業利益、親会社所有者利益及びEPSを上方修正し、ROICに関しては年初計画の達成を目指す
- 中東情勢の影響は、グループ全体で今期に100億円程度を見込むが、各事業において価格改定、コスト削減や費用コントロール等を行い、影響の低減を図ることで事業利益への影響を最小化する（来期の原材料等のコストインパクトは対今期で増加を見込む）

通期業績予想

(億円)	25年通期 (実績)	26年通期 (修正あり)	対前年 増減	%	26年通期 (従来予想)	修正額	%
売上収益	24,334	24,800	466	1.9%	24,800	—	—
事業利益	2,518	2,530	12	0.5%	2,350	180	7.7%
税引前利益	2,379	2,590	211	8.9%	2,580	10	0.4%
親会社の所有者 当期利益	1,475	1,600	125	8.4%	1,560	40	2.6%



売上収益

- Four Roses売却に伴う連結除外によるマイナスや豪ドルの為替予想レート修正によるプラスはあり、また、各事業に多少の上下はあるが、連結・個別業績ともに、修正するほどの大きな変動はない

事業利益

- 協和キリンのrocatinlimab開発中止に伴う研究開発費等の減少によるプラス（約300億円）と豪ドルの為替予想レート修正によるプラス、Four Roses売却に伴う連結除外によるマイナス（約80億円）を反映
- 中東情勢に伴うマイナス影響については各事業で最小化に努めるが一定程度リスクを反映

親会社所有者当期利益

- 事業利益の上方修正に伴う各段階利益の上方修正に伴い、親会社所有者利益は微増
- 修正後の税引前利益には、主に次の損益要因を織り込み済み
 - Four Roses売却益
 - 構造改革に伴う収益/費用及びrocatinlimab開発中止に伴うクローリング費用
 - マクロ環境に伴う持分法投資損益の悪化

※豪ドルの通期為替予想レートを次のとおり修正
豪ドル95.00円⇒100.00円

定量目標 / 通期予想配当金（一株当たり）

	25年通期 (実績)	26年通期 (修正あり)	対前年 増減	26年通期 (従来予想)	修正額
ROIC	7.6%	7.7%	—	7.7%	—
EPS	182円	200円	18円	193円	7円
年間配当金	74円	76円	2円	76円	—

Environment

Scope3移行計画の実行を加速

- ▶ SBTイニシアチブ（以下SBTi）による「SBTネットゼロ認定」を、2026年3月に再取得し、あわせて「FLAG目標」を新設
- ▶ これは、キリングループの事業ポートフォリオ変革や、外部環境の変化に伴うSBTiガイドラインの改定を踏まえたもの



詳細はこちら

「シャトー・メルシャン 天狗沢ヴィンヤード」が自然共生サイトに認定

- ▶ 農研機構との共同研究の成果の一部である「天狗沢ヴィンヤード」の生態系調査結果を自然共生サイト申請に活用
- ▶ 認定は、「シャトー・メルシャン 梔子ヴィンヤード」、「シャトー・メルシャン 城の平ヴィンヤード」に続いて3事例目



詳細はこちら

Social

デジタルを活用した飲食業界の課題解決に向けた取り組み始動

- ▶ キリンビールは、飲食業界の課題解決と活性化を目的に飲食店の開業や運営をデジタルで支援する新たな取り組みを開始
- ▶ 第1弾として、新規開業者向けコミュニティサイト「CHEERS FRONTIER（チアーズフロンティア）」を6月に開設



詳細はこちら

「キリン つよいぞ！ムテキッズ」が施設給食に初導入

- ▶ 子どもの健やかな成長を応援する「プラズマ乳酸菌」入り子ども健康飲料「キリン つよいぞ！ムテキッズ」を4月に施設給食に初導入
- ▶ 毎日の学校生活の中で子どもたち自身が体調管理を意識する習慣を取り入れやすい点や、楽しみながら続けられる点が評価



詳細はこちら

外部評価

CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」において8年連続で最高評価を獲得



詳細はこちら

経済産業省と東京証券取引所が選定する「DX銘柄」に選出



詳細はこちら

経済産業省と日本健康会議による「健康経営優良法人2026」の認定を取得



詳細はこちら

開示媒体

統合レポート2026



詳細はこちら

環境報告書2026

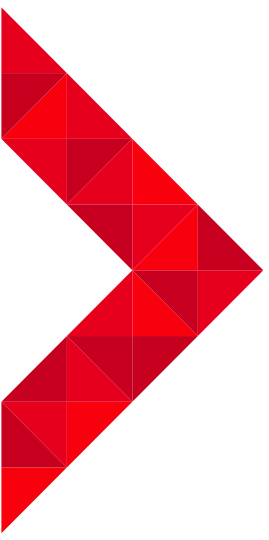


詳細はこちら

Coke Northeast SUSTAINABILITY REPORT

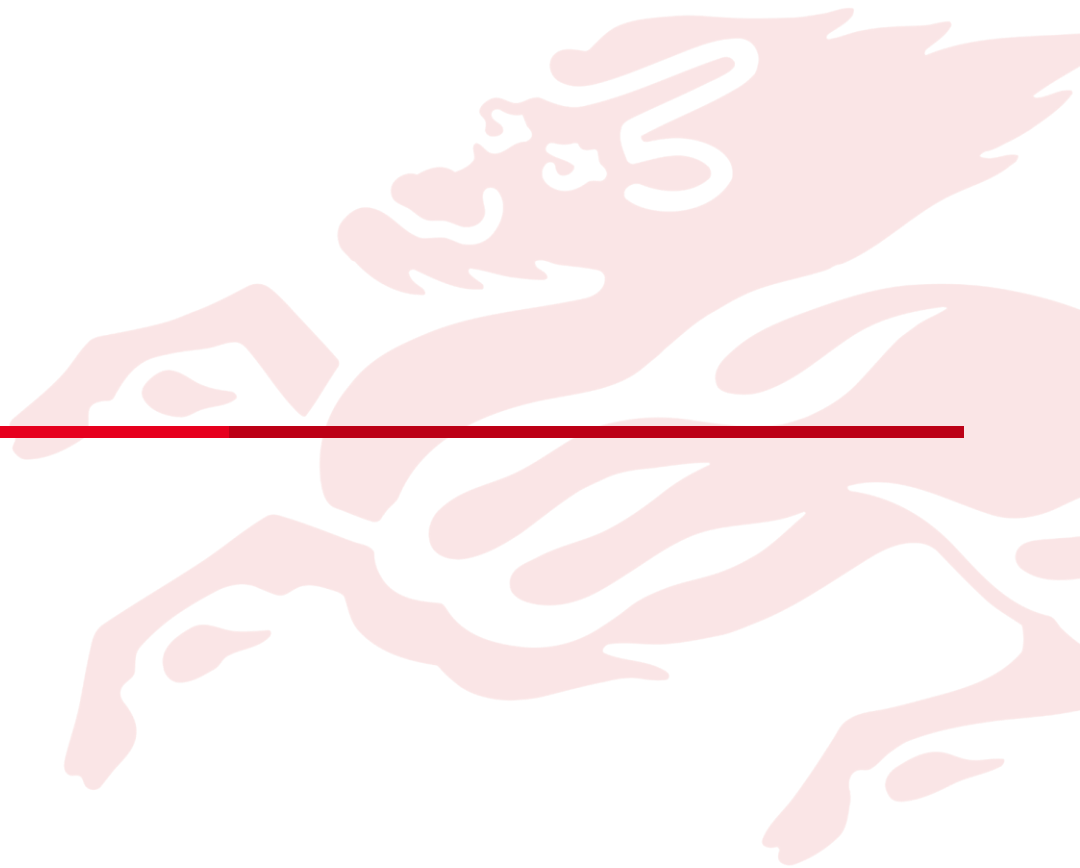


詳細はこちら



資料編

Joy brings us together



2026年度 2Q実績：セグメント別 売上収益

(億円)		2025年 2Q実績	2026年 2Q実績	増減	%
連結 売上収益		11,363	12,179	816	7.2%
酒類		4,926	5,178	252	5.1%
	麒麟ビール*	3,241	3,330	89	2.7%
	うち麒麟ビール単体	3,014	3,029	15	0.5%
	Lion	870	1,041	170	19.6%
	New Belgium他**	442	501	59	13.5%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	373	307	-67	-17.9%
飲料		2,718	2,949	231	8.5%
	麒麟ビバレッジ	1,253	1,218	-35	-2.8%
	Coke Northeast	1,423	1,682	258	18.2%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	42	49	7	16.7%
医薬		2,305	2,635	330	14.3%
	協和麒麟	2,307	2,636	330	14.3%
	セグメント間取引消去	-2	-1	0	—
ヘルスサイエンス		1,272	1,288	16	1.3%
	FANCL	544	620	76	14.0%
	Blackmores	329	394	64	19.5%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	399	275	-124	-31.1%
その他		141	128	-13	-9.3%

* 麒麟ビール単体の他、台湾麒麟等の連結構成会社を含む

** U.S.ワインを含む

2026年度 2Q実績：セグメント別 事業利益

(億円)

		2025年 2Q実績	2026年 2Q実績	増減	%
連結 事業利益		942	1,283	341	36.1%
酒類		532	621	89	16.8%
	麒麟ビール*	348	440	92	26.3%
	うち麒麟ビール単体	318	381	64	20.1%
	Lion	86	106	20	22.6%
	New Belgium他**	40	49	9	23.2%
	その他	57	26	-31	-54.5%
飲料		295	310	14	4.8%
	麒麟ビバレッジ	75	52	-23	-30.2%
	Coke Northeast	215	249	34	15.8%
	その他	6	9	3	44.7%
医薬		335	605	270	80.7%
	協和麒麟	335	605	270	80.7%
ヘルスサイエンス		86	104	18	20.8%
	FANCL	47	49	2	4.6%
	Blackmores	29	44	15	51.2%
	その他	10	11	1	8.5%
その他		-6	-15	-9	—
全社費用・セグメント間取引消去		-300	-342	-42	—

* 麒麟ビール単体の他、台湾麒麟等の連結構成会社を含む

** U.S.ワインを含む

FANCL

(億円)	25年 2Q実績	26年 2Q実績	増減	%
売上収益*	544	620	76	14.0%
化粧品(スキンケア)	304	355	51	16.9%
サプリメント	209	235	26	12.6%
事業利益** [事業利益率]	47 8.7%	49 8.0%	2	4.6%
地域別金額 対前年増減	26年 2Q実績			
国内	1.8%			
海外	116.2%			

* その他事業を含む

** PPAによる無形資産等の償却費を含む

売上
収益

化粧品(スキンケア)事業

- 海外での自社販売体制移行に伴う収益の取り込みや、国内でのブランド強化施策の効果等により増収。

サプリメント事業

- 海外での自社販売体制移行に伴う収益の取り込みや、国内での新商品投入効果により増収となった。

事業
利益

- ブランド強化のための広告投資を行いつつも、全体での売上伸長が寄与し増益。

Blackmores

豪ドルベース (million AUD)	25年 2Q実績	26年 2Q実績	増減	%
売上収益*	352	353	1	0.3%
豪州・NZ	159	150	-9	-5.4%
東南アジア・韓国	93	98	5	5.1%
中国	100	105	5	4.9%
事業利益** [事業利益率]	31 8.8%	39 11.1%	8	27.0%

* その他受託業務を含む

** PPA による無形資産等の償却費を含む

通期予想レート：100.00円(豪ドル) / 26年2Q実績レート：111.37円(豪ドル)

25年2Q実績レート：93.52円(豪ドル)

売上
収益

- 豪州での減収があった一方、中国・東南アジアでの堅調な成長により、売上収益はほぼ前年並み。

豪州・NZ

- 昨年8月に売却したペット向けヘルスケア事業の売上剥落に加え、風邪・インフルエンザ関連需要の立ち上がりの遅れが影響し、減収。

東南アジア・韓国

- インドネシア・マレーシア・タイでの新商品投入やチャネル拡大の効果により、エリア全体で増収。

中国

- Club Channelでの取り組みに加え、越境ECチャネルが堅調に推移したことで増収。

事業
利益

- 継続的なコスト削減の取り組みによる売上総利益の増加により増益。

2026年度 2Q実績：キリンビール

連結（億円）	25年 2Q実績	26年 2Q実績	増減	%
売上収益	3,241	3,330	89	2.7%
事業利益	348	440	92	26.3%

▶ 連結での実績は、増収増益。

▶ 海外事業は、一番搾りの販売が好調な中国が全体を牽引した結果、増収増益。

単体（億円）	25年 2Q実績	26年 2Q実績	増減	%
売上収益	3,014	3,029	15	0.5%
ビール類計	2,282	2,230	-52	-2.3%
RTD	526	545	19	3.6%
ノンアルコール飲料	42	62	21	49.8%
酒税抜売上収益	1,858	1,919	61	3.3%
事業利益	318	381	64	20.1%
[事業利益率] *	17.1%	19.9%		

* 対酒税抜売上収益

25年2Q 事業利益	318	主な内容
対前年増減		
酒類等 限界利益増	60	ビール類計 △30億 ビール類以外計 +20億 価格改定・品種構成差異等 +70億
原材料費増	-15	アルミ缶高騰等
販売費減	36	マーケティング費等
その他費用増	-17	修繕費・減価償却費増 他
計	64	
26年2Q 事業利益	381	

（千KL）

一番搾りブランド計

一番搾り計

晴れ風

グッドエール

淡麗グリーンラベル

本麒麟

氷結ブランド計

25年 2Q実績	26年 2Q実績	%	市場 （カテゴリー）
177	164	-7.0%	+0%
138	136	-1.8%	+0%
30	29	-1.0%	+0%
—	15	—	+0%
61	57	-5.8%	-8%**
74	66	-11.9%	-8%**
137	145	5.4%	-1%

** 発泡酒・新ジャンル（発泡酒②）合算のエコノミーカテゴリー前年比を記載

売上
収益

▶ 「一番搾り計」が堅調に推移したほか、発売開始以降計画を上回り好調な「グッドエール」が増分で寄与。また、「氷結ブランド計」は「氷結無糖」シリーズを中心に好調に推移し、市場を上回った。

▶ 売上収益は、主力ブランドの堅調な販売および前年4月の価格改定影響の反動増もあり、前年並み。

事業
利益

▶ 価格改定効果に加え、10月の酒税一本化に向け、マーケティング費の投下タイミングを下期にアロケーションした影響もあり、大幅増益となった。

2026年度 2Q実績 : Lion / New Belgium他*

Lion

豪ドルベース (million AUD)

	25年 2Q実績	26年 2Q実績	増減	%
売上収益	931	934	4	0.4%
事業利益 [事業利益率]	92 9.9%	95 10.2%	3	2.9%

通期予想レート: 100.00円 (豪ドル) / 26年2Q実績: 111.37円(豪ドル)
25年2Q実績: 93.52円(豪ドル)

豪州・NZ事業利益増減 (million AUD)

25年2Q 事業利益	92
豪州・NZ 数量	1
その他	1
26年2Q 事業利益	95

販売数量前年比

豪州のみ +1.5%

売上収益

- ▶ 豪州では、高価格帯の「Stone & Wood」、機能系の「Hahn」などの差別化できるブランドが数量成長を牽引し、市場を上回った。
- ▶ 豪州の販売単価は、価格改定・RGMに加え、業務用好調によるチャネルミックス改善も寄与し、White Claw終売影響を含めても前年を上回った。
- ▶ 結果として売上収益は、NZの為替差の影響を受けたものの、Lion全体で前年並み。

事業利益

- ▶ 価格改定効果・高価格帯商品ならびに業務用比率上昇によるミックス改善に加え、固定費削減が、中東情勢に伴う物流・燃料費上昇を上回り増益。
- ▶ 小売企業への配送に対しサーチャージを導入したことにより、燃料費増加影響を抑制した。

New Belgium他*

米ドルベース (million USD)

	25年 2Q実績	26年 2Q実績	増減	%
売上収益	299	316	17	5.7%
事業利益 [事業利益率]	27 9.1%	31 9.9%	4	14.8%

通期予想レート: 150.00円 (米ドル) / 26年2Q実績: 158.59円(米ドル)
25年2Q実績: 147.48円(米ドル)

売上収益

- ▶ 販売数量は、「Voodoo Ranger」ブランドにおいて既存主力品が引き続き成長したことに加え、新商品のG Forceも上乗せで寄与する健全な成長が継続。また、「KIRIN Ichiban」の取扱店舗拡大も販売増加に貢献した。
- ▶ 加えて、価格改定効果による単価上昇も寄与し、売上収益は増収となった。

事業利益

- ▶ 中東情勢に伴うアルミ・燃料のコストアップが発現し始めたものの、主要ブランドの数量増に加え、価格改定を主要因とする粗利増により増益となった。

* U.S.ワインを含む

2026年度 2Q実績 : キリンビバレッジ / Coke Northeast

キリンビバレッジ

(億円)	25年 2Q実績	26年 2Q実績	増減	%
売上収益	1,253	1,218	-35	-2.8%
ヘルスサイエンス飲料	198	193	-5	-2.1%
事業利益 [事業利益率]	75 5.9%	52 4.3%	-23	-30.2%

売上
収益

▶ 価格改定による単価上昇があった一方、同影響に伴う数量減ならびに大型PETの戦略的な販売抑制等により、減収。

事業
利益

▶ 価格改定による増益効果がありつつも、主に数量減、原材料・加工費単価上昇、午後の紅茶40周年、プラズマ新商品等の広告販促費投下もあり、減益。

トピックス

▶ 4月に「iMUSE フルーツリフレッシュ」を発売。季節を問わない通年の免疫ケア需要を取り込み、収益性改善につなげる。



Coke Northeast

米ドルベース (million USD)	25年 2Q実績	26年 2Q実績	増減	%
売上収益	965	1,060	95	9.9%
事業利益 [事業利益率]	145 15.1%	157 14.8%	11	7.7%

通期予想レート : 150.00円 (米ドル) / 26年2Q実績 : 158.59円(米ドル)
25年2Q実績 : 147.48円(米ドル)

売上
収益

▶ FIFAワールドカップや米国建国250周年といったイベント需要の着実な取り込みによる数量伸長と価格改定効果により増収。

事業
利益

▶ 中東情勢に伴う燃料費の高騰や一部資材のコストアップの影響を受けたが、トップライン伸長とオペレーションコスト抑制により増益。

2026年度 2Q実績／業績予想修正：協和キリン

(億円)	25年2Q実績	26年2Q実績	増減	%
売上収益	2,307	2,636	330	14.3%
事業利益	335	605	270	80.7%
[事業利益率]	14.5%	23.0%		

(億円)	Crysvita クリスピータ		Poteligeo ポテリジョ	
	25年2Q実績	26年2Q実績	25年2Q実績	26年2Q実績
日本	61	70	7	8
北米	640	751	160	193
EMEA	280	344	49	57
その他	17	22	1	1
合計	998	1,188	216	259

売上
収益

- Crysvitaの需要拡大、Fasenraの成長および1Qにrocatinlimabのアップフロントを一括計上したことによる技術収入の増加に加えて、為替の追い風により増収。

事業
利益

- 売上収益の増加に伴う売上総利益の拡大に加え、rocatinlimab開発中止に伴う研究開発費の減少により増益。

協和キリン 業績予想修正

(億円)	25年実績	26年修正 予想	増減	%	26年 従来予想	修正額
売上収益	4,968	5,200	232	5%	5,200	0
売上総利益	3,689	3,880	191	5%	3,910	-30
販売費及び一般管理費	1,579	1,630	51	3%	1,690	-60
研究開発費	1,012	950	-62	-6%	1,220	-270
コア営業利益	1,098	1,300	202	18%	1,000	300
事業利益*	1,023	1,190	167	16%	890	300
当期利益	670	750	80	12%	750	0

* キリンホールディングス連結取り込み

- 協和キリンは、第一四半期決算（5/7公表）にて業績修正を実施。
- コア営業利益をrocatinlimabの開発中止に伴う販管費・研究開発費の減少により、上方修正。
- 一方、同開発中止に伴うクロージング費用の見積もりに加え、減損損失の影響によりその他営業費用が増加予定のため、当期利益は年初計画を据え置き。
- キリンホールディングスにおいては、当該業績予想修正を当決算のタイミングにて取り込み。

2026年8月3日現在

	開発中の疾患*1	承認予定年*2	開発ステータス	市場規模*3	患者さんの数*4
ziftomenib	急性骨髄性白血病 (NPM1-m or KMT2A-r, 新規診断)	TBD	P3 (グローバル)	★★★★	20K
KK8398 infigratinib	軟骨無形成症	TBD	P3 (日本)	★	生児出生の 2万人に1人
	軟骨低形成症	TBD	P3 (日本) 準備中	★	生児出生の 3.3万人に1人
OTL-200	異染性白質ジストロフィー	TBD	P3 (日本) 準備中	★	生児出生の 10万人に1人*6
KHK4951	新生血管型加齢黄斑変性	TBD	P2 (日・米)	★★★★★	2672K
tivozanib 点眼	糖尿病黄斑浮腫	TBD	P2 (日・米)	★★★★	2219K
OTL-203	△コ多糖症I型 (Hurler症候群)	2029/2030	ビOTAL試験*5 (米・欧)	★	生児出生の 10万人に1人*6
OTL-201	△コ多糖症IIIA型 (Sanfilippo症候群A型)	TBD	POC試験*7	★	生児出生の 10万人に1人以下

*1 本資料の発表時点で開発中の疾患であり、最終的に規制当局から承認される適応症とは異なる可能性があります。*2 最初に承認が期待される年です。*3 「開発中の疾患」に対する全製品の総和を基に協和キリンが独自に推計した市場規模です。色付き部分はグローバル、それ以外は日本国内についての値です。★: 500億円未満、★★: 500億円以上-1000億円未満、★★★: 1000億円以上-5000億円未満、★★★★: 5000億円以上-1兆円未満、★★★★★: 1兆円以上 *4 協和キリン独自の推計値です。色付き部分はグローバル、それ以外は日本国内についての値です。*5 P3試験相当。*6 「10万人に1人」はMPS-I全体の値であり、Hurler症候群はこのうちの60%になります。*7 P1/2試験相当。

持分法適用関連会社 San Miguel Breweryの業績

- 価格改定による単価上昇により売上高は前年を上回ったものの、一時的な費用の増加や中東情勢の影響により営業利益は前年を下回った。
- 配当金については、普通配当のほかに、フィリピンの会社法に基づく約44億円の臨時配当が実施された。

(百万ペソ)	24年10月- 25年3月	25年10月- 26年3月	増減 %
売上高*	78,439	81,446	3.8%
営業利益*	18,204	16,885	-7.2%
営業利益率	23.2%	20.7%	-2.5%
減価償却費及び償却費他*	3,979	5,086	27.8%
EBITDA (営業利益 + 減価償却費及び償却費他)	22,183	21,971	-1.0%

* 現地開示ベース（キリンホールディングス 2026年度決算への取り込み期間：2025年10月～2026年9月）
出所：San Miguel Brewery Inc. Financial Highlights, Quarterly Reports

持分法による連結取込み及びキリンホールディングス受取配当金

(億円)	24年10月- 25年3月	25年10月- 26年3月	増減 %
当期利益 (SMB)	362	371	2.5%
連結取込	175	179	1.8%
配当金	134	185	38.0%
1株当たり配当金 (ペソ)	0.68	0.94**	37.8%

為替レート：1ペソ = 2.66円（前年同期：2.65円）

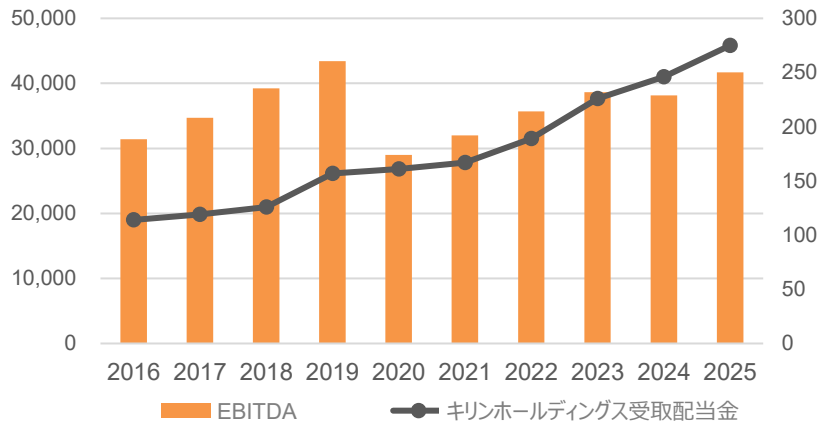
（キリンホールディングス 2026年度決算への取り込み期間：2025年10月～2026年3月）

配当金についてはキャッシュインベースで計上

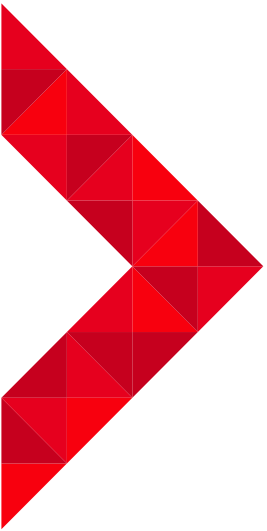
** 臨時配当込み

EBITDAと受取配当金の推移

EBITDA (百万ペソ)*** キリンホールディングス受取配当金 (億円)

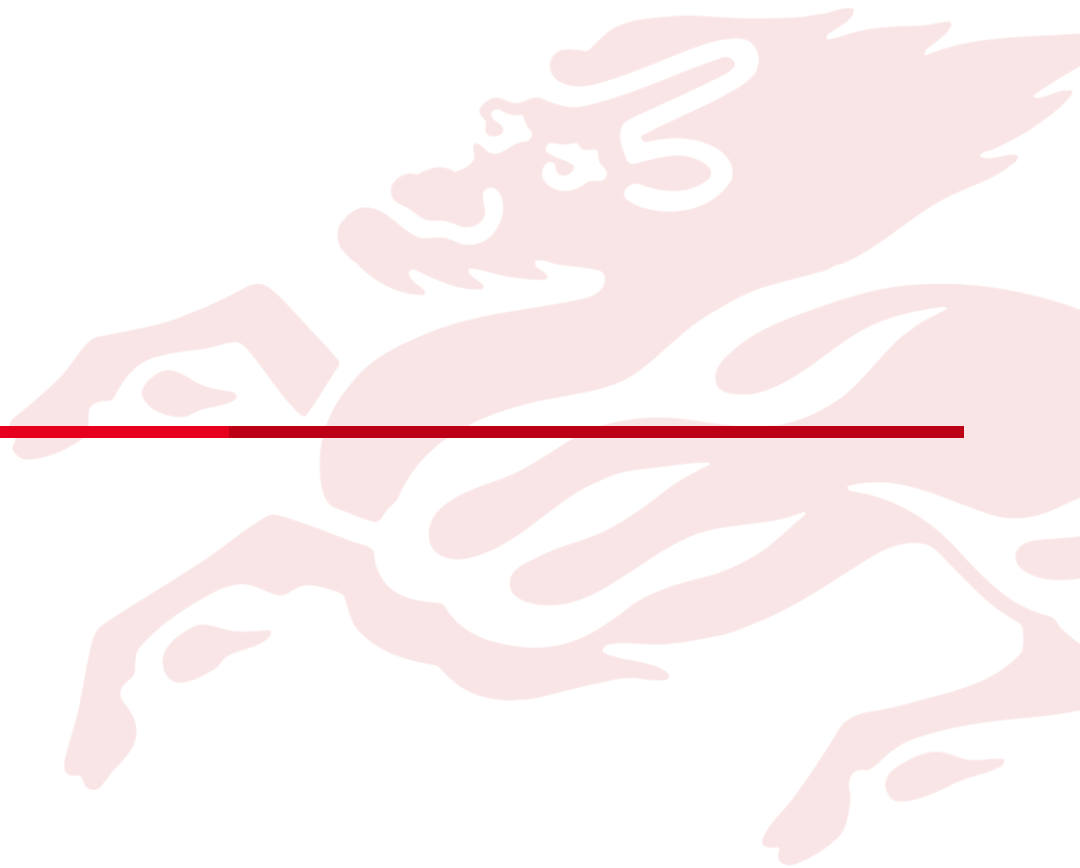


- フィリピンの2026年GDP予測は約5%****
- 2027年にかけても、内需に支えられながら、同程度の成長率で推移すると予測****
- San Miguel Breweryのフィリピンでの市場シェアは9割を超える



Appendix

Joy brings us together



2026年度 2Q実績：連結財政状態計算書サマリー

単位：億円	25年4Q 実績	26年2Q 実績	増減額	増減内容
非流動資産	24,231	24,338	107	
有形固定資産	7,390	7,390	0	
のれん	5,333	5,496	163	
無形資産	6,947	6,898	-49	
持分法で会計処理されている投資	2,288	2,336	48	
その他	2,274	2,218	-56	
流動資産	10,709	9,675	-1,034	
棚卸資産	3,484	2,998	-486	
営業債権及びその他の債権	5,357	4,283	-1,074	● 前年度末が休日による減少 他
現金及び現金同等物	1,253	1,681	428	
その他	615	713	98	
資産合計	34,940	34,013	-928	
資本	15,951	16,807	855	
親会社所有者帰属持分	12,870	13,620	750	● 中間利益による増加 他
非支配持分	3,082	3,187	105	
非流動負債	11,199	10,685	-514	
社債及び借入金	8,424	8,026	-399	
その他	2,775	2,659	-116	
流動負債	7,790	6,521	-1,269	
社債及び借入金	810	410	-400	
営業債務及びその他の債務	3,815	3,360	-455	
その他	3,165	2,751	-414	
負債合計	18,989	17,206	-1,783	
資本負債合計	34,940	34,013	-928	

▶ **資産合計**：前年度末が休日であったこと等による営業債権及びその他の債権の減少等により、前年度末に比べ928億円減少し、3兆4,013億円となった。

▶ **資本合計**：中間利益の計上に加え、為替変動の影響等によるその他の資本の構成要素の増加により、前年度末に比べ855億円増加し、1兆6,807億円となった。

▶ **負債合計**：社債及び借入金（短期）の償還・返済に加え、前年度末が休日であったこと等による営業債務及びその他の債務、未払酒税の減少により、前年度末に比べ1,783億円減少して1兆7,206億円となった。

2026年度 2Q実績：連結損益計算書サマリー

1 損益計算書サマリー

	25年 2Q実績	26年 2Q実績	対前年増減	
単位：億円				
売上収益	11,363	12,179	816	7.2%
売上総利益	5,324	5,927	604	11.3%
販売費及び一般管理費	4,381	4,644	263	6.0%
事業利益	942	1,283	341	36.1%
その他の営業収益	21	450	429	－
その他の営業費用	277	443	166	60.2%
営業利益	687	1,290	603	87.8%
金融収益	46	126	79	170.2%
金融費用	90	110	20	22.7%
持分法による投資利益	194	203	9	4.7%
税引前中間利益	838	1,509	671	80.1%
法人所得税費用	233	348	115	49.2%
中間利益	605	1,161	556	92.0%
親会社の所有者	528	1,017	489	92.5%
非支配持分	76	144	68	88.5%

2 主要在外会社損益の為替換算レート

	25年 2Q実績	26年 2Q実績
単位：円		
Lion・Blackmores(豪ドル)	93.52	111.37
Coke Northeast・New Belgium他(米ドル)	147.48	158.59

3 主要在外会社損益の取込期間

	25年2Q	26年2Q
San Miguel Brewery	2024年10月 ～2025年3月	2025年10月 ～2026年3月

2026年度 2Q実績：利益増減明細

1 その他の営業収益・その他の営業費用

	25年 2Q実績	26年 2Q実績	対前年 増減
単位：億円			
その他の営業収益	21	450	429
有形固定資産及び無形資産売却益	5	1	-4
子会社売却益	—	290	290
子会社清算益	—	142	142
その他	17	18	1
その他の営業費用	277	443	166
減損損失	7	94	88
事業構造改善費用	182	43	-138
有形固定資産及び無形資産除売却損	11	24	12
その他	77	282	205

2 金融収益・金融費用・持分法による投資利益 等

	25年 2Q実績	26年 2Q実績	対前年 増減
単位：億円			
金融収益	46	126	79
受取利息	31	62	31
受取配当金	10	5	-5
金融商品評価益	1	54	53
その他	5	4	-0
金融費用	90	110	20
支払利息	49	67	18
為替差損(純額)	23	28	5
その他	18	15	-3
持分法による投資利益	194	203	9
San Miguel Brewery	175	179	3
その他	18	24	6

2026年度 2Q実績：指標等

1 指標等（前年同期比）

■前年同期比

	25年 2Q実績	26年 2Q実績	対前年増減	
EPS	65円	126円	61円	93.7%
売上収益(酒税抜き)（億円）	10,075	10,938	864	8.6%
事業利益率(対酒税抜き)	9.4%	11.7%		
グロスDEレシオ	0.91倍	0.62倍		

■前年同期末比

	25年 4Q実績	26年 2Q実績
ROIC*	7.6%	—
ROE*	12.0%	—
グロスDEレシオ	0.72	0.62
ネットDebt／EBITDA*	2.39	—
PBR(株価純資産倍率)	1.5	1.6

- **ROIC**：利払前税引後利益／(有利子負債の期首期末平均＋資本合計の期首期末平均)にて算出
- **ROE**：親会社の所有者に帰属する当期利益／自己資本（前当期平均）にて算出
- **PBR**：期末株価終値／（親会社の所有者に帰属する持分／期末発行済株式数（自己株式除く））にて算出

▶ **グロスDEレシオ**：有利子負債が8.6%減少した一方、親会社の所有者に帰属する持分が5.8%の増加となったため、前年度末より低下した。

▶ **PBR**：期末株価終値が19.7%上昇し、親会社の所有者に帰属する持分も7.6%増加したことから、前年度末並みとなった。

*ROIC・ROE・ネットDebt／EBITDAは4Qのみ開示

2026年度 業績：連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

単位：億円

	25年 2Q実績	26年 2Q実績	対前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	673	1,373	701
税引前中間利益	838	1,509	671
減価償却費及び償却費	501	544	44
その他	-666	-679	-14
投資活動によるキャッシュ・フロー	-616	537	1,152
有形固定資産及び無形資産の取得	-722	-653	70
その他	107	1,189	1,082
財務活動によるキャッシュ・フロー	358	-1,625	-1,983
有利子負債の増減額	1,631	-800	-2,431
配当金の支払額	-357	-378	-21
その他	-915	-447	469
換算差額	-39	142	182
現金及び現金同等物の増減額	376	428	52
会計方針の変更による影響額*	-107	—	107
売却目的で保有する資産への振替に伴う 現金及び現金同等物の増減額	-131	—	131
フリーキャッシュフロー	57	1,910	1,853

▶ **営業活動CF**：前年同期に比べ701億円増加の1,373億円の収入となった。前年同期に比べ運転資金の流入が726億円増加した一方、法人所得税の支払額は77億円増加した。

▶ **投資活動CF**：537億円の収入（前年同期は616億円の支出）となった。有形固定資産及び無形資産の取得については前年同期に比べ70億円減少の653億円を支出、また、投資の取得により25億円を支出した。一方、子会社持分の譲渡により1,145億円の収入があった。

▶ **財務活動CF**：1,625億円の支出（前年同期は358億円の収入）となった。短期借入金の増加により10億円の収入があった。一方、社債の償還により400億円、配当金の支払により378億円、自己株式の取得により346億円、長期借入金の返済により250億円、コマーシャル・ペーパーの減少により160億円の支出があった。

* 現金及び現金同等物の期首残高を減少させており、「現金及び現金同等物の増減額」に含めていない

2026年度 業績：セグメント別情報

2026年中間期実績

単位：億円

	酒類	飲料	医薬	ヘルス サイエンス	その他	調整額	合計
事業利益	621	310	605	104	-15	-342	1,283
減価償却費及び償却費	123	66	132	68	10	43	442
有形固定資産及び 無形資産の取得	170	168	221	49	25	21	653

2025年中間期実績

単位：億円

	酒類	飲料	医薬	ヘルス サイエンス	その他	調整額	合計
事業利益	532	295	335	86	-6	-300	942
減価償却費及び償却費	137	65	102	63	5	35	407
有形固定資産及び 無形資産の取得	205	104	308	40	73	-7	722

*(注) 減価償却費及び償却費は使用権資産の償却費を除いている。

© Kirin Holdings Company, Limited

2026年度 業績予想修正 : 連結損益計算書

主要在外会社損益の為替換算レート

単位: 円	26年年初 (従来予想)	26年通期 (修正あり)
Lion・Blackmores(豪ドル)	95.00	100.00
Coke Northeast・New Belgium他(米ドル)	150.00	150.00

単位: 億円

	25年通期 (実績)	26年通期 (修正あり)	対前年 増減	%	26年通期 (従来予想)	修正額	%
売上収益	24,334	24,800	466	1.9%	24,800	—	—
事業利益	2,518	2,530	12	0.5%	2,350	180	7.7%
その他の営業収益	65	530	465	715.7%	62	468	758.4%
その他の営業費用	486	760	274	56.4%	302	458	151.9%
営業利益	2,097	2,300	203	9.7%	2,110	190	9.0%
金融収益	107	170	63	59.3%	268	-98	-36.7%
金融費用	183	180	-3	-1.8%	140	40	28.8%
持分法投資損益	358	300	-58	-16.2%	341	-41	-12.1%
税引前利益	2,379	2,590	211	8.9%	2,580	10	0.4%
法人所得税費用	597	650	53	8.9%	680	-30	-4.4%
当期利益	1,782	1,940	158	8.9%	1,900	40	2.1%
親会社の所有者 当期利益	1,475	1,600	125	8.4%	1,560	40	2.6%
非支配持分利益	306	340	34	11.0%	340	—	—

2026年度 業績予想修正 : 指標等

単位：億円

	25年 実績	26年 修正予想	増減	%	2026年 従来予想	修正額	%
売上収益（酒税抜き）	21,547	22,070	523	2.4%	22,070	—	—
事業利益率（酒税抜き）	11.7%	11.5%			10.6%		
	25年 実績	26年 修正予想	増減		2026年 従来予想	修正額	
ROIC	7.6%	7.7%	—		7.7%	—	
EPS	182円	200円	18円		193円	7円	
年間配当金（1株当たり）	74円	76円	2円		76円	—	
ROE	12.0%	12.0%	—		11.7%	—	
グロスDEレシオ	0.72倍	0.65倍	—		0.65倍	—	

▶ キリンホールディングス IR情報



<https://www.kirinholdings.com/jp/investors/>

▶ キリンホールディングス Investor's Guide, Fact Book, 動画



<https://www.kirinholdings.com/jp/investors/library/guide/>

* 「Investor's Guide」は、投資家様向けにキリングループの経営計画、事業概要や各事業の保有意義などをまとめた資料です。

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or sell securities or related financial instruments.



よろこびがつなぐ世界へ Joy brings us together